

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

oneM2M

1/2

企画戦略委員	渡辺 伸吾 (KDDI)	登録委員数	16名/8社
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	委員長：山本 賢一 (KDDI)、副委員長：山崎 育生 (NTT)	図解	
活動の目的・意義	<ul style="list-style-type: none"> これまで別個に標準化が行われてきた垂直統合型のプラットフォームを、共通の水平型のプラットフォームにすることで、異なるアプリケーションを同じプラットフォームで活用できること、将来のIoT/M2M市場のフラグメンテーションを避けること、各地域における同様な標準化作業の重複を避けることを主眼とする。 		
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	特になし。		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> 来年度の標準化方針は、調整中。 		
国内外の標準化団体等の動向	<p>oneM2M</p> <ul style="list-style-type: none"> Release2をベースとしたITU-T勧告化がほぼ完了、Release3,4の勧告化の方法を検討中。 2022年12月にRelease4が発行。 Release5の検討が開始されており、2024年1QにStage1がFreeze予定。 		

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> oneM2Mの次期仕様であるRelease 5の策定状況の動向把握（Metaverseを検討するWork Item等） oneM2M準拠製品・ソリューション、各国導入に向けた取り組み（インドでの国内標準採用等） 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	特になし。			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	各IMとして提出するため目標設定はしないが、日本勢として積極的な寄与を呼びかける	0件	
	外部会合への参加・連携状況	TP会合（2023年4月、6月、9月、12月、2024年2月、計5回予定）。4月、6月、9月、12月会合はF2F開催となる予定（12月は日本で開催する方向で検討中）	TP会合は、2023年4, 6, 9, 12月に開催され、全会合に参加（F2Fと電話会議を併用したHybrid開催） 12月の日本会合は、TTC/ARIBがホストとなり、TTC会議室を会場として予定通り開催。	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0件 TR制定: 0件	TS制定: 1件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	oneM2Mでの技術仕様策定状況に応じて、スマートシティなどをテーマとした他専門委員会と合同のセミナー開催を検討。	1件（ARIBと共催で、TP日本会合に合わせて実施（Industry Day））	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート執筆、講演会への講師としての参加	0件	